

謹賀新年

2019

## 新年のご挨拶

一般社団法人 朝倉介護保険事業者協議会 会長 火野坂 徹

新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、穏やかな新年を迎えられましたことを、先ずもってお慶び申し上げます。また、年末年始に業務に就かれた方、本当にご苦労様でございました。今年も皆様方の、今まで以上のご活躍を期待しています。今年が平成最後のお正月です。そして、5月より新しい年号に代わります。私たちも心機一転、新たな気持ちをもって、猪突猛進、何事にも突き進んでいきたいと考えています。

私はこの事業者協議会の使命は、医師を含め、お互いが各介護事業所の仕事内容の理解し、人的ネットワークを作ること、また同業種同士でも、情報交換することによって、お互いの技術向上に励み、地域住民の介護レベルの底上げを図ることが、この協議会の役割だと思っています。他地区の同じような協議会に比べ、朝倉介護保険事業者協議会は、みなさんの協力により、素晴らしい組織になっています。これからもこの組織がさらに進化し、利用者にとってより有効に、役立つ組織になってもらいたいと思います。

朝倉介護保険事業者協議会ももうすぐ設立20年を迎えようとしています。20年目の記念事業も考えていかねばならない時期になってまいりました。今後の事業者協議会の在り方や役割を模索しながら、20年事業に取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

## 事業報告Ⅰ 行政・三師会との連絡会議

平成30年12月7日（金）行政・三師会との連絡会議がニュー松屋にて開催されました。開式には火野坂会長が挨拶され、先日の行政との意見交換会を踏まえて、行政・三師会・介護保険事業者協議会がこの朝倉地域において、より一層の連携が構築できるよう取り組んでいきたいと思いますとの抱負を述べられました。又、平成32年に迎える創立20周年に向けて、今後の当協議会の風通しの良い組織体制作りと方向性について力強い決意を示されました。

続いて林裕二朝倉市長、坂田高朝倉医師会長、栗原涉福岡県議会議員より挨拶を述べられ、今後の当協議会への期待と地域の介護レベルの底上げ、そして何より地域の介護を必要とする利用者・家族を支える介護サービス職員へ熱いエールを頂きました。

その後、井上朝倉歯科医師会長の乾杯により連絡会議が始まり、行政・三師会・当協議会の参加者全員がざっくばらんに意見交換を行い、親交を深めました。

最後に平位薬剤師会長が恒例の万歳三唱を行い、本年の連絡会議は幕を閉じました。



火野坂会長

林市長

坂田医師会長

栗原県議会議員

## 事業報告Ⅱ 平成30年度 第2回スタッフセミナー

### 第2回講習会 「看取りについて～緩和ケアの視点・経験から～」

通所リハビリ部会

介護老人保健施設アルファ俊聖 通所リハビリ 舟木 勇

平成30年9月20日（木）ピーポート甘木中ホールにて第2回スタッフセミナーが開催されました。内容は「看取りについて～緩和ケアの視点・経験から～」というテーマで、久留米大学病院の緩和ケアチーム身体担当専従医をされている佐野智美先生に講演していただきました。

死を迎えるにあたって大事なことは何か、何をしておくべきかを佐野先生の経験をもとに話されました。介護施設で亡くなる高齢者が増加している現代で介護従事者が看取りのためにできること、人生の最後まで尊厳のある生活を送れるようにどのような支援を行うべきか、家族への対応等についての内容でした。また、本人や家族の意思決定支援を実行していく為に重要なこと、意思は時間、状況変化と共に変わっていくものと言う事を認識して日頃から繰り返し話し合うことの重要性を学ばせていただきました。

私の働く通所リハビリでは利用者様を看取することはほとんどないのですが、今回の講演を聴講して、利用者様の最後の時に「私という介護士と出会えて良かったな」と思っていただけのような関わり方をしていきたいと思いました。

佐野先生、ありがとうございました。

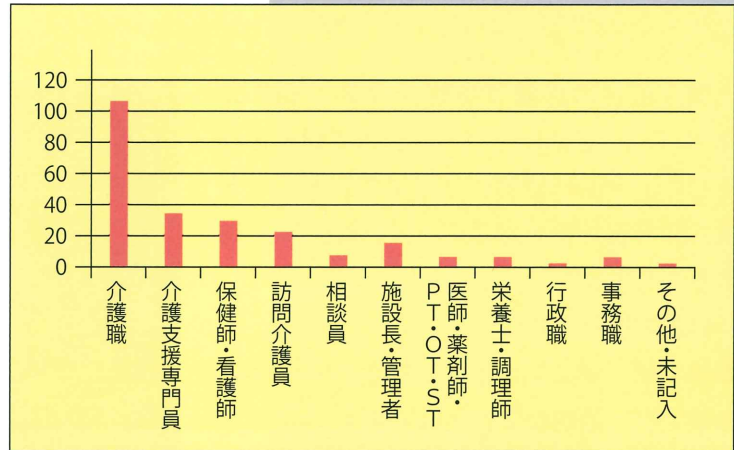


# 平成30年度 第2回スタッフセミナーアンケート結果

2018/9/20 ピーポート甘木 中ホール

## (1) 参加者の状況

参加者数 235名		
一般		
1	介護職	106
2	介護支援専門員	34
3	保健師・看護師	29
4	訪問介護員	22
5	相談員	7
6	施設長・管理者	15
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	6
8	栄養士・調理師	6
9	行政職	2
10	事務職	6
11	その他・未記入	2
合計		235



## (2) アンケートの集計

### ① 勤務されている業種

業種	人数
居宅介護支援	26
訪問介護・入浴	28
訪問看護	6
訪問リハビリ	1
通所介護	13
通所リハビリ	14
支援センター	1
居宅療養管理	0
グループホーム	40
介護福祉施設	24
介護保健施設	33
小規模多機能	0
病院・医院	1
行政	2
福祉用具貸与・住宅改修	3
その他	5
未記入	1
合計	188

### ② 現在の職種

職種	人数
介護職	87
相談員(病院・施設・福祉用具貸与)	11
訪問介護員	15
介護支援専門員	28
看護師	22
保健師	1
OT	0
PT	5
ST	0
医師	0
薬剤師	0
栄養士	3
調理師	2
管理者	10
事務職	2
行政職	0
その他	2
未記入	0
合計	188

### ③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	9
2	1年以上3年未満	24
3	3年以上5年未満	36
4	5年以上10年未満	41
5	10年以上	74
6	未記入	4
合計		188

### ④ 講義内容について

アンケート回答者数 154名		
1	非常に良かった	57
2	良かった	90
3	どちらともいえない	7
4	あまり良くなかった	0
5	良くなかった	0
6	未記入	34
合計		188
アンケート回答率 80%		

## (3) ご意見をお聞かせ下さい

① 講義内容に関するご意見	<p>看取りという今まで関わりが少なかった分野に対し、家族との対応、本人へのケアどちらも貴重なお話が聞けました。死について考える事、利用者と向き合うこと。明日は、もう少し利用者さんと話をしようと思います。実際に看取りの現場に立ち会ったら、自分がどうして看取ってもらいたいか、という事を考えて実践していきたい。</p> <p>ACP、AD、DNAR気持ちは揺れている。いつ変えても良いことが心に残った。</p> <p>講師の声のトーン、話し方等が非常に良かった。看取りについて、改めて考えていきたいです。</p>
② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方	<p>エンゼルケアの仕方（どういう風にしていくのが良いのか、その手順）について知りたい。</p> <p>ヒヤリハット、事故報告、リスクマネジメントについて</p> <p>介護スタッフの心のケアについて勉強したい。</p> <p>高齢者のなりやすい病気の症状を具体的に知りたい。その際の観察の注意点について。</p>
③ 協議会への要望等	<p>客室の照明調整をもう少し細やかにしてもらいたいです。明るくて見にくい所がありました。</p> <p>朝倉地区で認知症保険の導入が出来ないか？行政含めて検討して頂きたい。(久留米地区のノウハウ参考に)</p> <p>研修120分休憩無しでは厳しいので、90分程度でおさめて欲しい。</p> <p>開始時間を早められないでしょうか。1時間に1回は休憩が欲しい。</p>

※アンケート結果についてはホームページに詳しく載せていますのでそちらをご確認下さい。

## 事業報告Ⅲ 褥瘡予防研究会

### 第3回講習会「褥瘡予防のためのポジショニングと正しい介護ベッドの活用方法」

ベストケア善導寺 金子 哲也

第3回目の褥瘡予防講習会は、平成30年10月10日にピーポート甘木で開催されました。今回は講師にパラマウントベッド株式会社石井氏をお迎えし、協議会から38名参加しました。

講義概要としては

- ◆第1章 ポジショニングの考え方と実践
  - ◆第2章 適切なマットレス選定
  - ①体圧センサーを使って体圧を可視化
  - ②マットレス使用上の注意点
- についてご講義頂きました。

クッションを使った場合や特殊寝台付属品マットレス、床ずれ防止用具（エアマットレス）によって圧のかかり方が違うのはもちろんわかっていましたが、実際に私がベッドに寝てみて体圧分散の圧のかかり方をスクリーン上に映していただき、参加者の方にもとてもわかりやすくご理解いただけたのではないかと思います。また自分達、福祉用具専門相談員も特殊寝台、寝台付属品の研究を怠らず最新の情報を皆様にご提供できるよう尽力していきます。



以下、参加者より講義内容についてのご意見を頂いておりますのでご覧ください。

- ・途中で実際に使用したことですごくわかりやすく、とても勉強になりました。今、訪問にて動ける方ばかりですが、患者様の休む姿勢などを細かく把握し、体圧分散を考えていきたいと思いました。明日からでも今日教えて頂いたことを役立てていきたいです。
- ・普段、利用者様に休まれているときにギャッチアップしているのですが、その中でどのくらい圧がかかっているのか目で確認することができたのでよかったです。
- ・背抜きでの圧抜きの画像での変化にとっても驚きました。とても重要性を感じました。
- ・最近のエアマットは非常に素晴らしいものだと思います。センサーを使用して圧がどのくらいかかるのか知れて良かったです。背抜きも行っていきたいです。
- ・ベッドに寝たきりの入居者様がいたので、とてもためになりました。食事もベッド上で介助を行っているのですが、足上げ機能を知らなかったのも、早速明日から使用してみようと思います。マットレスがほしいのですが、難しいと思うので、クッション等で体圧がかからないように頑張っていこうと思います。
- ・旧式のベッド、エアマットしか知らなかったのも詳しく知ることが出来てよかった。
- ・出来ていたつもりでも、利用者の方にはすごく圧がかかっているのだなと感じました。

## 事業報告Ⅳ 部会活動報告

### 介護老人福祉施設部会

特別養護老人ホーム 大刀洗昌普久苑 井手 直人

介護老人福祉施設部会は今年より、特別養護老人ホーム日迎の園が加わり朝倉市及び周辺にある9施設が活動しております。

特別養護老人ホームには数々の専門職がいる為、介護支援専門員、相談員、介護職員、看護職員、厨房(栄養士)、事務の6部門及び、各施設からのスタッフが集まって勉強会を行ううぐいす会と全ての取りまとめを行う福祉施設部会を併せて8部門で構成されております。

各施設での専門職同士の情報交換を中心に部門毎に年2回の交換会を行うのと、約2ヶ月に1回の福祉施設部会の会議とうぐいす会の勉強会を実施しております。

今年度はH30年介護保険改正後である為、各施設での改正後の新規加算についての取り組みの意見交換や、県からの指導監査での指摘事項の情報共有、昨年に引き続き集中豪雨における被災状況や避難者についての情報共有化及び各施設間における災害時協定に基づく物資等の支援についての必要性検討等、施設のご利用者様の安全だけでなく、介護を受けながら生活されている住民の皆様が地域で安心して過ごしていけるように、各施設で協力をしております。

今後も地域の皆様の介護でお困りの際に、各施設の垣根を越えて協力しながら地域の福祉拠点としてサービスの向上に努めていきたいと思っております。

## Hobby Box

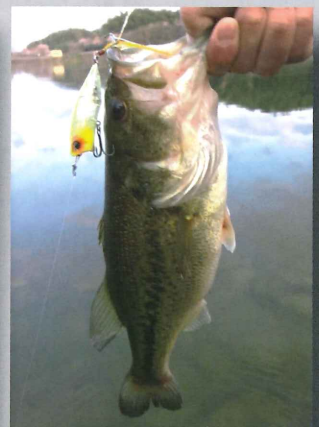
### ～バスフィッシング～

介護老人保健施設ふじ 穴井 雅暢

私の趣味は魚釣りです。私はもともと中学生の時にバス釣りをしていました。その頃は野池や河川にバスは多く生息していたので、友人といつも釣りに行き楽しんでました。しかし、学生生活が終わると、バス釣りから離れてしまいました。それから、会社の後輩の誘いがきっかけでバス釣りを再開しました。道具を揃えはしたものの、最初は本当に釣れず、十代の頃のようにいつでも釣れる環境ではないことを思い知らされ、バス釣りの知識、フィールド情報を勉強するようになりました。

今では時に味わえるかかった瞬間の感触、手に伝わる振動、そして水面に見えた時の喜びは何にもかえがたいものです。そして、釣れずとも、何より静かな自然の中で、日常をすべて忘れられる時間も一つの魅力です。

最後に、バス釣りに子供が興味を持ち始めており、いつか一緒に行くことができると楽しみにしています。



※今回の介護スタッフリレーコラムはお休みします

# My Way

## あまぎケアプランサービスの香月 貴広さん

今回、紹介させていただく方は、あまぎケアプランサービスのケアマネジャーであり、私の高校陸上部の先輩でもある香月貴広先輩です。

元々は福祉とは違う職場で働いていらっしゃいましたが、20代中頃から介護の現場で働くようになり、その楽しさから熱心にこの仕事に携わってこられたそうです。

仕事で気を付けていることを伺ったところ、ご本人が言うには、気が短い性格なので、ご利用者やご家族と接する時は、難しい顔をしないように注意し、特に言葉使いには十分に配慮しながら、信頼関係を築く努力をされているそうです。

仕事を離れば3人の子供さんの父親でもあります。仕事で多忙な上、PTAや地域の役員も兼任され、趣味の時間も持てないほど忙しいようですが、子供さんの部活の大会などがあれば必ず応援に行かれているそうで、家庭では良き父親なのだと感じました。

高校時代の先輩が、朝倉という同じ地域で、介護という同じ仕事をしていると知った時は、とても嬉しく感じましたし、今後も頼れる先輩として長く活躍してくれることを期待しています。

紹介文：特別養護老人ホーム 甘木愛光園 矢野 勤



次回は香月さんからの紹介で「甘木中央病院訪問看護ステーション 柴田 恵さん」です！

## 徒然日記

訪問看護部会 訪問看護ステーションけんせい 鶴田 真寿美

### 「気候変動適応法」施行で思うこと

12月1日から「気候変動適応法」という新しい法律が施行されました。2つの大きな柱は「緩和」と「適応」だそうで、「緩和」は以前から言われているCO2削減なのですが、では「適応」とは？「温暖化がある程度進んだとしても大丈夫なように備える、災害をなるべく減らすこと」と言われています。2015年以降、温暖化に関連した災害は世界規模で起きています。温暖化への「適応計画」は、国や自治体の取り組みだけでなく、私たち個人レベルでも取り組むことが必要であり、台風や洪水への

備えや熱中症の予防、節水など、企業としても、災害時にも事業ができるだけ続けられるようにするためには、電源や物流ルートの確保などが重要とされています。

私たちの地域に深い爪痕を残した「九州豪雨」。あの体験や思いから学んだことを形にするために、もう一度意識して身の回りを見回してみたいと思います。



## 編集後記

明けましておめでとうございます。今年は平成から新しい元号に変わります。時代が大きく変わる、そんな節目にいるのだなとつくづく感じます。私たち介護の仕事も「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」いわゆる入管法改正が成立し、環境が大きく変わろうとしています。時代の流れに振り回されないよう、しっかりと知識をもち、新しい時代に対応していきましょう。本年も宜しくお願い致します。

(広報部：真田)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局  
〒838-0023 福岡県朝倉市三奈木 2420-15  
一般社団法人 朝倉医師会  
介護老人保健施設 アスピア  
TEL 0946-23-2200 FAX 0946-23-2264

編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会  
〒838-1315 福岡県朝倉市入地 2262-1  
社会福祉法人 朝倉恵愛会  
いしずえ荘 在宅部  
TEL 0946-23-8823 FAX 0946-23-8813  
印刷／井上総合印刷株式会社